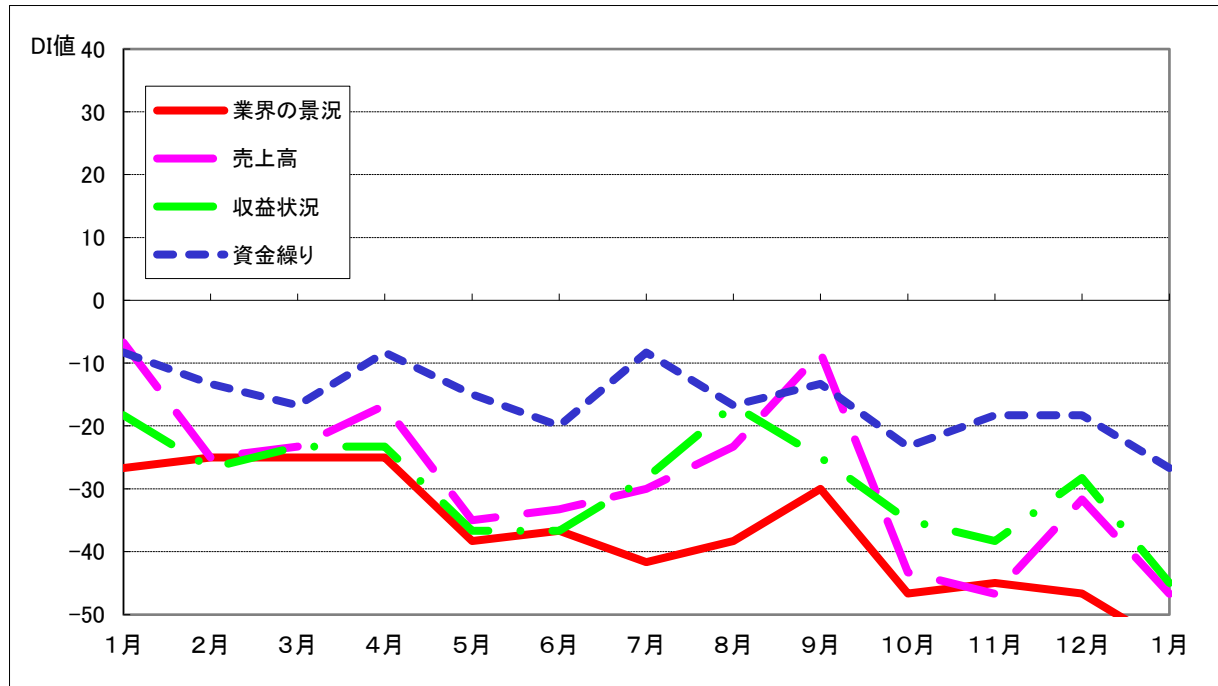


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成31年1月～令和2年1月

単位:ポイント



	H31				R1								R2
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
業界の景況	-26.7	-25.0	-25.0	-25.0	-38.3	-36.7	-41.7	-38.3	-30.0	-46.7	-45.0	-46.7	-55.0
売上高	-6.7	-25.0	-23.3	-16.7	-35.0	-33.3	-30.0	-23.3	-8.3	-43.3	-46.7	-31.7	-46.7
収益状況	-18.3	-26.7	-23.3	-23.3	-36.7	-36.7	-28.3	-16.7	-25.0	-35.0	-38.3	-28.3	-45.0
資金繰り	-8.3	-13.3	-16.7	-8.3	-15.0	-20.0	-8.3	-16.7	-13.3	-23.3	-18.3	-18.3	-26.7

1月のDI値は前月と比べ、4項目共悪化した。「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は15ポイント、「収益状況」DI値は16.7ポイント、「資金繰り」DI値は8.4ポイント悪化した。前年同月比でみると同様に4項目で悪化した。「業界の景況」DI値は28.3ポイント、「売上高」DI値は40ポイント、「収益状況」DI値は26.7ポイント、「資金繰り」DI値は18.4ポイント悪化という結果となった。

連絡員からは、小売業、商店街を中心に、年明け以降も温暖な天候が続いたため客足が伸びたのは良いが、なかなか売上に結びつかないといった声が聞かれた。消費税増税による節約志向は未だ続き、年末年始の売上増加への期待に対し、厳しい結果となったようだ。その他、鉄鋼、金属を中心とした製造業からは、自然災害の多発や消費税増税の影響からか、受注の減少等、景況感悪化の声が聞かれた。

組合からの特記事項では、今月も少雪のため、製造業においては現場では進捗が進んでいるが、建設業、金属製造業、機械器具製造業では受注量が減少している傾向にある。特に金属製品に関しては、中国および東南アジア向けの受注が顕著に減少しているとのこと。機械器具製造業はますます短納期化してきている。卸・小売業においては、少雪の影響で商店街に人通りが増えたが、冬物商品の動きが鈍くなっている。また、旅客運輸業なども増税の影響により需要が低下している。しかし花卉卸売業では、季節商材の入荷が増え売上が増加した。